



# 市議会レポート

第2号

三原市議会議員

## 正田 洋一

“未来を考える”  
“地域をもっと元気にする！”

発行者：正田洋一 三原市本町2-11-12 正田洋一事務所 TEL/FAX 0848-63-0085 発行責任者：正田洋一

kindness honesty truth fellowship future go ahead! kindness honesty truth fellowship future go ahead! kindness honesty truth fellowship future go ahead!



9月議会(平成25年第4回三原市議会定例会議)で2回目の議会となりました。今議会の話題は、6月から継続審査となっておりました「支所長の公募の案件」、「議員政治倫理条例」、「市庁舎の耐震診断」、「円一保育所開設ともなう和田保育所廃止」、「水道会計」などです。今回も市議会の発行する「議会だより」では書けない自分の思いを書いています。

### 平成25年第4回 定例会 報告

#### ■ 一般質問

この度は、中心市街地活性化の課題1点です。

この課題は、昨年度の議会で、市庁舎を駅前東館跡地への移転可否で議会が二分し、中心市街地活性化の課題が置き去りにされました。また、「否決」で決着がついたはずにもかかわらず選挙争点となり、再検討への道を遠ざけてしまいました。しかし、そもそもの課題に立ち返れば、「市庁舎移転」ではなく、「中心市街地活性化」だったはず。この課題について現在の市政では、進展が見られないため、一般質問をしました。



**質問** 中心市街地の活性化の課題について3つに分けて説明を求めました。市長は、選挙で「駅前東館跡地への市庁舎移転を中止し、民間にできることは民間で行う。」という公約をされました。「市庁舎移転中止」というやらないことには言及しましたが、何をやるかは言及しませんでした。そこで現在の検討状況について、具体的もしくは検討中であれば計画案を出す時期について伺いました。

- ① 中心市街地のランドデザイン(全体計画)
- ② 駅前東館跡地の検討状況
- ③ 駅北側城跡地の検討状況

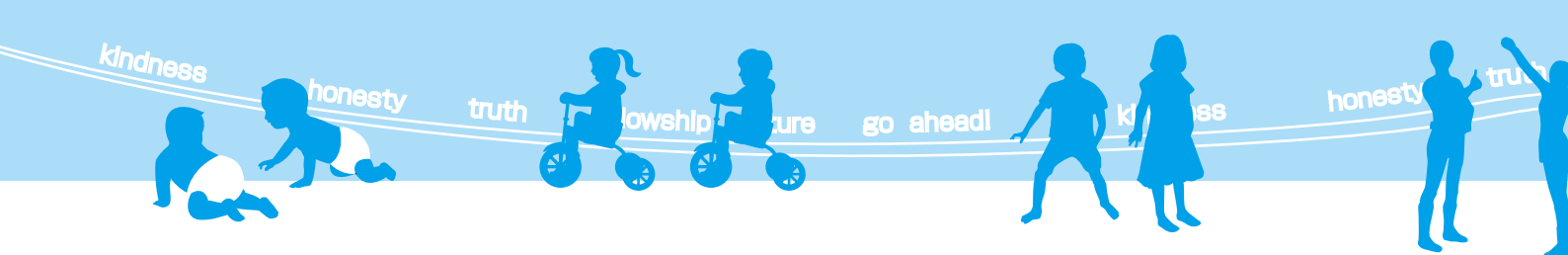
**回答** ① 中心市街地のランドデザインは、昨年議会の市庁舎移転議案の否決からペンディングの状態になっていたが、早急に着手し、26年3月までに提示する。

② 駅前東館跡地は、街づくり戦略検討会議(シンクタンク)での答申を26年3月に提示し、市からの計画案26年4月以降なるべく早く提示する。

③ 駅北側城跡地は、公園整備を行う。計画案を26年3月、実施設計を27年3月迄、着工を27年4月、完成29年年3月とする。担当課から直接お聞きした事柄を付け加えると、公園整備については、文化庁の予算で実施されるため、前倒しは難しいが、29年3月には公園が完成する。市役所内部では既に計画案ができていたが、今回一般質問を行ったことにより市民の皆様へ明らかになりました。

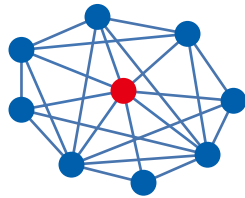
**要望** 2点、中心市街地のランドデザインは、ビジュアル化し、市民の皆様理解と期待を与えるものにして欲しい。東京オリンピックのプレゼンまではいかなくても未来の街の様子がわかるものにする。地域疲弊の問題は、中山間地ばかりに目がいつているが中心市街地も同様であり、市全体の課題と捉えて取り組んでいただきたい。





**総括**

私は、街全体の再設計が地域疲弊の解消につながると考えており、中心市街地を置き去りにした議論は、あり得ないと考えます。三原の活性化のためには、中心市街地活性化が、絶対に必要です。都市設計をしていく上で、中心市街地いわゆる街というネットワークというハブ(中心)が確立しないと都市設計は前に進まないからです。右記に簡単な図を示します。赤丸を中心市街地とし、青丸を市街地の人口集積部分とし、それを線でつなぎます。赤丸は三原駅周辺を中心市街地、青丸の街とは、例えば、本郷、久井、大和、糸崎、須波、幸崎、中之町、宮浦、宮沖、田野浦、大型団地(ダイヤハイツ、小坂団地、本郷団地、青葉台)などでしょうか。こういった部分を整備し、便利のよい交通手段でつなぐことによって街が機能的になると考えています。これはコンパクトシティの考え方そのものであり、中心市街地の整備は、最初にやる必要があるということです。



図：街のネットワーク

次に私は、一般質問を20分で簡潔におこないました。(評価はぜひお聞かせください。)通常1人1時間以内と決まっておりますが、20分に設定しました。長くて聞いてもらえないとご指摘をいただいたからです。また、長くやるのがいいとする議員の傾向に流されたくありませんでした。一般質問は、エンターテインメントと捉えており、簡潔に面白くする努力を続けていきます。

**■ 他の議員の質問の感想**

先輩の質問で私が注目すべき話題がありました。仁ノ岡議員の教育行政についての質問で、三原の小中学校の学力レベルが県内でも高い水準にあり、今後もこの傾向を続けていく一方で、進学段階で、市内の小中学生が市外に流出するケースが目立っているとの指摘がありました。実際に学校選択は個人の自由であり、選択権は本人もしくは親にあります。三原の教育の競争力強化には、市と県の教育行政の連携強化により地元高校の学力レベルの向上が必要であると思います。教育長には、市として積極的取り組んでいただくとお約束いただきました。

また、名前は伏せますが、市長の施策を絶賛し、特段指摘事項もないまま質問を行った議員がいました。議員は市の仕事をチェックするのが役割であり、チェックの役割をしないなら質問の必要ありません。議員が市長側で仕事をするなら議員は不要です。二元代表制の意味をよく理解いただき、正しい行動を取っていただきたいと感じました。

2日間にわたり、15人の方が質問をされました。いい勉強になりました。個別の質問の中身は、市議会の発行する「議会だより」をご参照ください。

**■ 常任委員会報告 総務財務委員会**

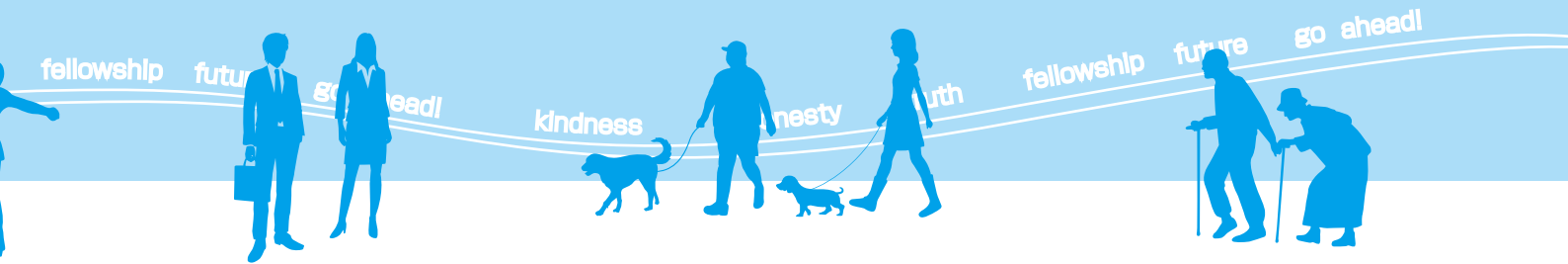
ここでの話題の中心は、支所長公募の案件でした。下記の議論が行われ否決となりました。

|    |                                       |
|----|---------------------------------------|
| 賛成 | 伊藤議員(創志会)                             |
| 反対 | 仁ノ岡議員(志成会)、小西議員(公明)、安藤議員(無所属)、正田(志成会) |
| 退席 | 分野議長(市民連合)                            |

以下討論(発言順)

|  |
|--|
| <p><b>反対討論(正田洋一より)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 目的に対して効果が明確でない。</li> <li>② 内部人材を生かしたうえで足りないスキルを民間から補えばよい。</li> <li>③ したがって支所長である必要がなく、3年間6000万円の人件費も容認できない。</li> </ul>   |
| <p><b>賛成討論(伊藤議員より)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 住民の声を適切に拾う必要がある。</li> <li>② 行政区の広域化を進めていくうえでひずみが生まれており疲弊の解消のために必要である。</li> <li>③ 天満市長の選挙公約であり、市民の皆様の28千票の重みがあるため認めるべきだ。</li> </ul>   |
| <p><b>反対討論(仁ノ岡議員より)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 行革の観点から新たな仕組みをつくる前に内部人材を投入する方法を模索するのが先である。</li> <li>② 地域審議会のメンバーの活用をすべきである。</li> <li>③ 旧3町には11名の市議会議員がおりその活用が先である。</li> <li>④ 市長ご自身は執行権を持っており、自身が地域の声を聞くべきである。</li> </ul> |

委員会ではいい議論ができたと思います。賛成の伊藤議員の意見も理解できます。ここまで議論を尽くされたのにもかかわらず、本会議採決当日取り下げとなりました。



## ■ 本会議

本会議で議決された案件についての報告です。

### 『支所長公募条例案件取り下げ』

採決当日、議案取り下げというハプニングが起きました。否決されそうなので理事者(市長側)が取り下げるといふものです。議案阻止という目的は達成できたのですが、議論を反故にする後味の悪い決着のつけ方でした。私は取り下げに「反対」し、白黒つけるべきだと主張しましたが、取り下げについて、賛成多数で「可決」されました。委員会では否決された議案を理事者が取り下げ、議案が可決するというのは、全国の議会でもあまりないケースで理事者(市長側)も議員も恥ずべき行為であることを付け加えておきます。

### 『円一保育所開設に伴う和田保育所の廃止』

円一保育所の設置に伴い、和田保育所は廃止方針ですが、一部の保護者の同意が取れていないことが問題になっていました。本会議では、反対2名、退席3名で賛成多数で「可決」となりました。私は、「賛成」をしましたが、すべての保護者の同意を取るのがベターだと思います。保護者の気持ちや過去の経緯も考慮すれば、存続するという考えもなかったわけではありません。しかし、行政コスト削減や環境の充実のための統廃合であり特定地域のみ、保育所を残すことを容認できないということが私の結論です。

### 『市庁舎の耐震診断』 16,900千円

市庁舎の方針を決めるために耐震診断をおこなうものです。既に平成7年の耐震診断の結果、議会の議決で立替の方針が決定しています。しかし、再検討をするために行うものです。これこそ税金の無駄使いだと思うのですが、再検討を早急に検討すべきと考え、「賛成」の立場をとりました。今回は必ず結論をだし、早急に着手しなければなりません。

### 『水道事業会計決算認定』

昨年度の決算報告です。水道会計の概算は、収益25.2億円、支出24.2億円、利益1億円です。企業債は、借入1.5億、償還(返済)5.7億、年度末残高は117.8億円です。数字を見る限り、水道会計の苦しさがわかります。しかし、長きにわたりコスト削減の努力がなされており成果も上がっています。また、節水が進めば進むほど売上が減少するというジレンマを抱えています。議会では、引き続き経営努力でコスト削減に努めることを指摘し、会計報告については「認定」しました。

### 『長期総合計画策定』

三原市の総合的かつ計画的な行政運営をはかる為に作成するもので、策定開始をするために議会の承認をとるので具体的な内容はこれからになります。私は、副題として「202X年三原ビジョン」とすること、市民の皆様によりわかりやすいビジュアル的な提示をしていただくことをお願いしました。理由は、三原の将来ビジョンを市民の皆様と共有することで、三原の未来をみんなで考え、推進していきましょうという願いからです。策定については「承認」されました。

### 『議員政治倫理条例』

市議会議員が逮捕される事件を受けて、議員提案による倫理条例の制定が行われました。制定の過程において、条文解釈に激しい議論がありましたが、全員一致で「可決」となりました。委員会にテレビカメラが入るなど注目をされた案件でした。議員が倫理観をもって行動することは言うまでもありません。

## ■ その他のトピックス

### 『まちづくり検討会議』

当会議は市長の私的諮問機関のため、議員は会議に参加し意見を言うことはできませんが、傍聴に行ってきました。面白い意見を抜粋します。

- ① 三原は一次産業、二次産業が強く、三次産業弱い。六次産業化の推進をすべき。
- ② 街に病床が多いことは強み、医療先進の街、駅前に病院をつくるべき。
- ③ 周辺都市からの通勤・通学多いのは、居住環境の競争に負けている。住んでよし、訪れてよしのまちづくり居住環境の強化をすべき。観光ではなく交流人口の増加が目標。
- ④ 街の配置に問題がある。コンパクトシティのためのソフトとハードのランドデザインが必要である。
- ⑤ 教育の街にすればどうか。中高で子どもが市外に流出する課題解決のため、小中高、公立、私立関係なく、次世代教育の教員研修施設をつくってはどうか。

この会議の具体性はこれからだと思います。また「駅前東館跡地活用」、「一般廃棄物対策」、「事業仕分け」の3つの部会にわけられるのですが、個別の課題設定の前に三原市のまちづくりのランドデザインが必要だと感じました。意見が言えないのがもどかしいですが、次回の一般質問で質問するかもしれません。

### 『副市長人事』

2人目の副市長が賛成多数で「承認」されました。行政経験と実績のある方を選ばれました。古地副市長は、理事者側(市長側)と議員のパイプ役として時にはご苦労されるとおもいますが、協力していきたいと思っております。

## ■ 正田洋一の個人活動

### 『防災士資格取得』

広島県の防災リーダー育成プログラムに参加させていただき、防災士の資格取得をしました。今後、地域の防災リーダーとしてもお役に立てるよう頑張ります。また、私の会社では、事務所内に災害時の非常食・水・懐中電灯などを配備いたしました。

### 『敬老会に参加』

地元の敬老会に運営に参加させていただきました。敬老会は地域の高齢者を敬うばかりでなく、地域の担い手との絆を深める機会にもなります。子どもたちの歌もあり、地域の方によるハーモニカもあり、2時間余りの会でしたが楽しんでいただけたのではないかと思います。担い手の高齢化の問題もありますが、ずっと続けていきたい行事だと感じました。

### 『三原の担い手の交流会を実施』

フェイスブックのつながりから三原の担い手の交流会実施、場所は私の自宅庭でバーベキューをしながらビジネス交流、友活、婚活を目的に30名の方に集まいただきました。また、映画「はらっぴing」の予告上映会も実施しました。今後も定期的に交流会を実施したいと考えています。



## ■ 12月議会予定と論点

| 日     | 時間  | 会議        | 傍聴 |
|-------|-----|-----------|----|
| 2日    | 10時 | 本会議       | ○  |
|       | 10時 | 議会運営委員会   | ○  |
| 4日～6日 | 10時 | 一般質問      | ○  |
| 9日    | 10時 | 総務財務委員会   | ○  |
| 10日   | 10時 | 福祉文教委員会   | ○  |
| 11日   | 10時 | 生活経済委員会   | ○  |
| 12日   | 10時 | 建設都市委員会   | ○  |
| 13日   | 10時 | 補正予算特別委員会 | ○  |
| 17日   | 13時 | 議会運営委員会   | ○  |
|       | 14時 | 本会議       | ○  |

ゴミ袋有料化の見直しの議案が提出されると思われます。

## ■ 正田洋一からのお知らせ

12月よりメルマガをスタートさせます。議会での出来事。日頃の活動状況や市民の皆様からご相談いただいた事柄などを月1、2回程度配信させていただく予定です。引き続きホームページやFacebookでも情報を発信しておりますのでご覧ください。よろしければ、メールアドレスを教えてください。

☆私のメールアドレス：[info@shoda-yoichi.jp](mailto:info@shoda-yoichi.jp)

☆ホームページ：<http://shoda-yoichi.jp/>

☆Twitter：<https://twitter.com/401shoda>

☆Facebook：<https://www.facebook.com/shoda401>

## ■ 編集後記

新人議員の私ですが、会派の先輩議員のサポートもあり、議会ではいつも自由に意見を言わせていただいています。皆様の声をしっかり聴く「実践」と経済や法律の勉強から得る「理論」を磨き、議員活動を行っていきたくと思います。また、ブログや議会レポートではちょっと辛口の私ですが広い目で見てくださいようよろしくお願いいたします。

正田洋一事務所

お気軽にお問い合わせください。

〒723-0062 三原市本町 2-11-12

e-mail [info@shoda-yoichi.jp](mailto:info@shoda-yoichi.jp)

TEL/FAX 0848-63-0085

携帯 090-6001-0100

honesty

truth

fellowship future

go ahead

kindness

honesty

truth